

平成28年4月6日(水)

自治体と一体となって地方創生に取り組む企業の支援について

- ①総務省の地域経済循環創造事業交付金を活用した支援

②林野庁の森林整備加速化・林業再生対策を活用した支援

株式会社トマト銀行(取締役社長 高木 晶悟)は、真庭市と連携し、総務省と林野庁の補助金制度を活用した融資を行いましたので、お知らせいたします。

本件は、自治体と一体となって地方創生に取り組む企業を支援した事例です。当社は、中期経営計画「トマトみらい創生プラン」の重点目標に「地方創生・活性化への貢献」を掲げており、今後も地方創生につながる取り組みを積極的に支援してまいります。

1 総務省の地域経済循環創造事業交付金を活用した支援

事業者名	北房アグリビジネス株式会社
代表者	代表取締役 加戸 裕子
事業名	地元農産物を活用したスイーツ開発による北房地区魅力発信
内容	(1)地域農産物を活用したスイーツの開発、製造販売 (2)空き家を改修して行う飲食業 (3)商店街と連携し、昭和の町並みの再生によって観光客の流れを呼び込む取り組み
交付額	14百万円
融資額	10百万円
店舗名	北房あざえ茶屋
店舗住所	真庭市下砦部567番地1
オープン予定	平成28年4月9日(土) 9:00～

2 林野庁の森林整備加速化・林業再生対策を活用した支援

事業者名	有限会社サンライズ
代表者	代表取締役 三木 康史
事業名	CLT(※)を活用した宿泊施設の新設
内容	・真庭市の企業が岡山県産のスギ材・ヒノキ材を用いて製造したCLTを利用し、シングル10室、ツイン1室のホテル別館を新設
交付申請額	29.8百万円
融資額	60百万円
ホテル名	真庭シティホテルサンライズ
ホテル住所	真庭市惣258-6
一般宿泊受付開始	平成28年4月12日(火)

(※)クロス・ラミネーテッド・ティンバー(Cross Laminated Timber)の頭文字を取ったもので、直交集成板とも呼ばれます。板の木目が層ごとに垂直に交わるように重ねて接着してできており、強度・断熱・耐火・遮音性に優れ、施工が速く、軽いことが特徴です。ヨーロッパではその優れた製品性能が高く評価され、これまで高層建築物の躯体に使用されてきた鉄筋コンクリートに代わる建築材料として需要の拡大が見込まれております。

以上

本件に関するお問い合わせ先	コンサルティング営業部	野瀬	Tel 086-800-1830
報道関係のお問い合わせ先	経営企画部(広報担当)	みつぎね 光貴・俣野	Tel 086-221-1145